

JP 2-21 / 22-32

POWERDUCTION 37LG / 39LG / 50LG

安全にご使用いただくために



当取扱説明書は操作説明及び安全性についての情報を提供致します。ご使用前にこの取扱説明書を注意深くお読みください。またお読みいただいた後は大切に保管し必要なときに再度お読みください。製品使用開始前またはサービスを行う前に次の安全勧告をお読みください。取扱説明書で指定されていない任意の変更やサービスは行なわないでください。メーカーは、取扱説明書の内容に準拠しない状況でマシンを使用した結果として、人や道具へ損害を及ぼした場合の責任を負うことはできません。何らかの問題や不明な点がある場合は、有資格者に相談し、機器を正しく操作してください。本機は、機器および取扱説明書に記載された範囲内で、鉄系材料の加熱にのみ使用できます。作業者は溶接を行う際に安全上の注意事項を遵守しなければなりません。不適當または安全ではない使用の場合、製造者は損害または傷害に対して責任を負い兼ねます。本取扱説明書に記載されていない使用は禁止されています。本製品は半自動式であり、オペレーターの立会いが必要です。

本機は、8歳以上の子供や、身体的、感覚的、精神的な能力が低下している人、経験や知識が不足している人でも、適切に監視されている場合、または機器を安全に使用するための指示を読み、危険性を認識している場合は、使用することができます。小児のおもちゃとして使用しないで下さい。清掃作業やメンテナンス作業を監視下に無い子供にさせないで下さい。

ケーブルやプラグに損傷が認められた場合は本体の使用をすぐにやめてください。

本体を覆わないで下さい。

**火災や爆発のリスク**

この装置は、爆発の危険性のある環境での使用を意図したものではありません。



ガスボンベやその他の加圧ガス容器を誘導加熱装置に近づけないでください。

警告：熱と炎の危険性。

部品や接着剤を過熱しないでください。

火災に注意し、消火器を近くに置いてください。

本機を可燃物の上や近くに置かないでください。

本機を可燃物の近くに置かないでください。

**警告！表面が非常に高温です。火傷の危険**

溶接されたばかりの鋼板は、大変高温で接触時に火傷の原因になる可能性があります。

- 高温のパーツには触れないでください。

- 鋼板に触れる場合は、事前に表面温度が十分に下がっていることをご確認下さい。

スイッチを入れたときに、宝石類（結婚指輪など）やその他の金属片が誘導加熱装置やインダクタに近づかないようにしてください。

この機械を使用する前に、アクセサリーや金属製のものを外してください。

金属製のインプラントを使用している人は、この機械を使用しないでください。

火傷を負ってしまった場合は流水で十分に冷やし、医師にご相談下さい。

ガスの危険性

頭部をヒュームに近づけないでください。

屋内で作業する場合は、換気するか、またはヒュームエクストラクタを使用してガスやヒュームを排出してください。

接着剤やフラックスなど、特定の材料を誘導加熱すると、ヒュームやガスが発生することがあります。これらの煙やガスを吸うと、健康に害を及ぼす可能性があります。例：ウレタンを加熱するとガスが発生します：シアン化水素は人体に致命的な影響を与える可能性があります。

換気が不十分な場合は、公認の呼吸器を使用してください。

接着剤、フラックス、金属、消耗品、コーティング剤、洗浄剤、腐食剤、塗料剥離剤については、

安全データシート (MSDS) とメーカーの説明書をお読みください。熱はヒュームと反応し、毒性の高いガスを発生させる恐れがあります。

狭い場所での作業は、換気が十分な場合に限りです。または、承認された呼吸/ろ過装置を使用すること。有資格者が必ず傍で見守ること。加熱中に放出される煙やガスは、空気中の酸素の働きを阻害し、事故や死亡の原因になり得ます。呼吸している空気の質をチェックしてください。

亜鉛メッキ鋼のような金属を過熱しないでください、鉛やカドミウムで覆われた金属は、加熱前に表面からコーティングを除去しない限り、過熱しないこと。加熱する前に、その場所の換気をよくし、必要であれば、公認の呼吸器を使用してください。鋳造品およびそのような元素を含むすべての金属は、過熱すると有毒ガスが発生する可能性があります。

温度に関する詳細はMSDSを確認してください。



警告：電氣的危険



警告！電磁気の影響 能動的または受動的インプラントを装着している人は、そのことを知らされていなければなりません。

機械を単独で使用する場合、それ以上の保護措置は必要ない。その他の場合には、さらなる制限および/または保護措置が必要となる場合があります。メンテナンス後は、機械を再び使用する前に、磁界レベルをチェックする必要があります。



スイッチを入れる際、インダクタを頭部や臓器に近づけないでください。



注意：加熱された金属素子が核融合に達すると、光放射の危険があります。



ペースメーカーを装着している方は、機械に近づかないようにしてください。機械の近くにいとペースメーカーの作動が妨げられる危険性があります。

本体に近づく前に医師に相談してください。



金属や接着剤の突起のリスク



側面の保護が認可された保護メガネを着用すること、またはスクリーンで顔全体を保護すること。



保護服を着用させてください。

手袋着用

空気循環を促進するために、マシンの吸気口を塞がないようにしてください。

装置を使用する前に、インストールの章を確認してください。



接続：

本機はアース付きソケットに接続してください。



これらのクラスA機器は、電流が低電圧電源で公共ネットワークから供給される住宅用地での使用を意図したものではありません。このような場所では、無線周波数だけでなく、干渉のために電磁両立性の確保が困難になる可能性があります。

本ハードウェアはIEC 61000-3-12に準拠しています。

この装置は、IEC 61000-3-11規格に準拠しています。



メンテナンス：

電源ケーブルが損傷した場合は、危険防止のため、製造元、そのアフターサービス、または同等の資格を持つ人が交換してください。

警告！ 本体のメンテナンスを行う前に、必ず主電源を切ってください。

機械内部は感電の恐れがあり危険です。

内蔵ヒューズが溶断した場合は、事故を防ぐ為に販売店アフターサービス、または有資格者が取り替えてください。

定期的にケーシングを取り外し、余分なホコリを取り除いてください。同時に各パーツの電気配線が正しくインストールされているか有資格者が絶縁工具を用い、点検してください。

溶剤やその他の強力な洗浄剤は使用しないでください。

装置の表面を乾いた布で拭いてください。



規則：

当製品は欧州指令に準拠しています。

適合証明書は当社ウェブサイトでご覧いただけます。



EAC適合マーク（ユーラシア経済共同体）。



英国の基準に準拠した装置 英国の適合宣言は、当社のウェブサイトでご覧いただけます。



- モロッコの基準に準拠した装置

- CQ (CMIM)宣言書は、当社のウェブサイトでご覧頂けます。



廃棄物処理：

本製品は適切なリサイクル施設で廃棄してください。家庭ゴミとして捨てないでください。

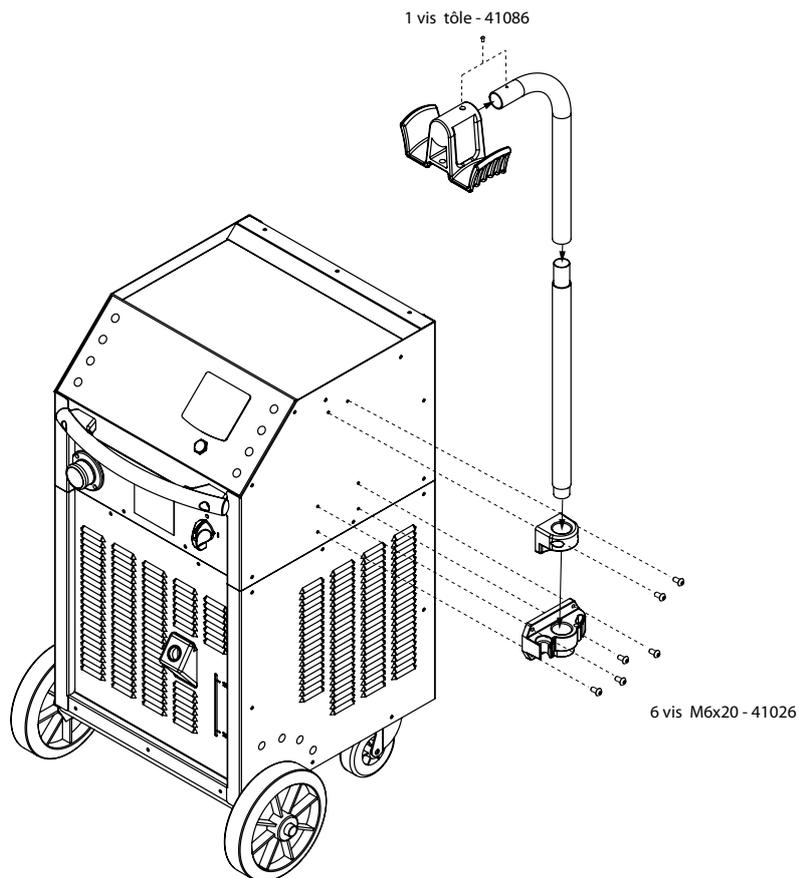
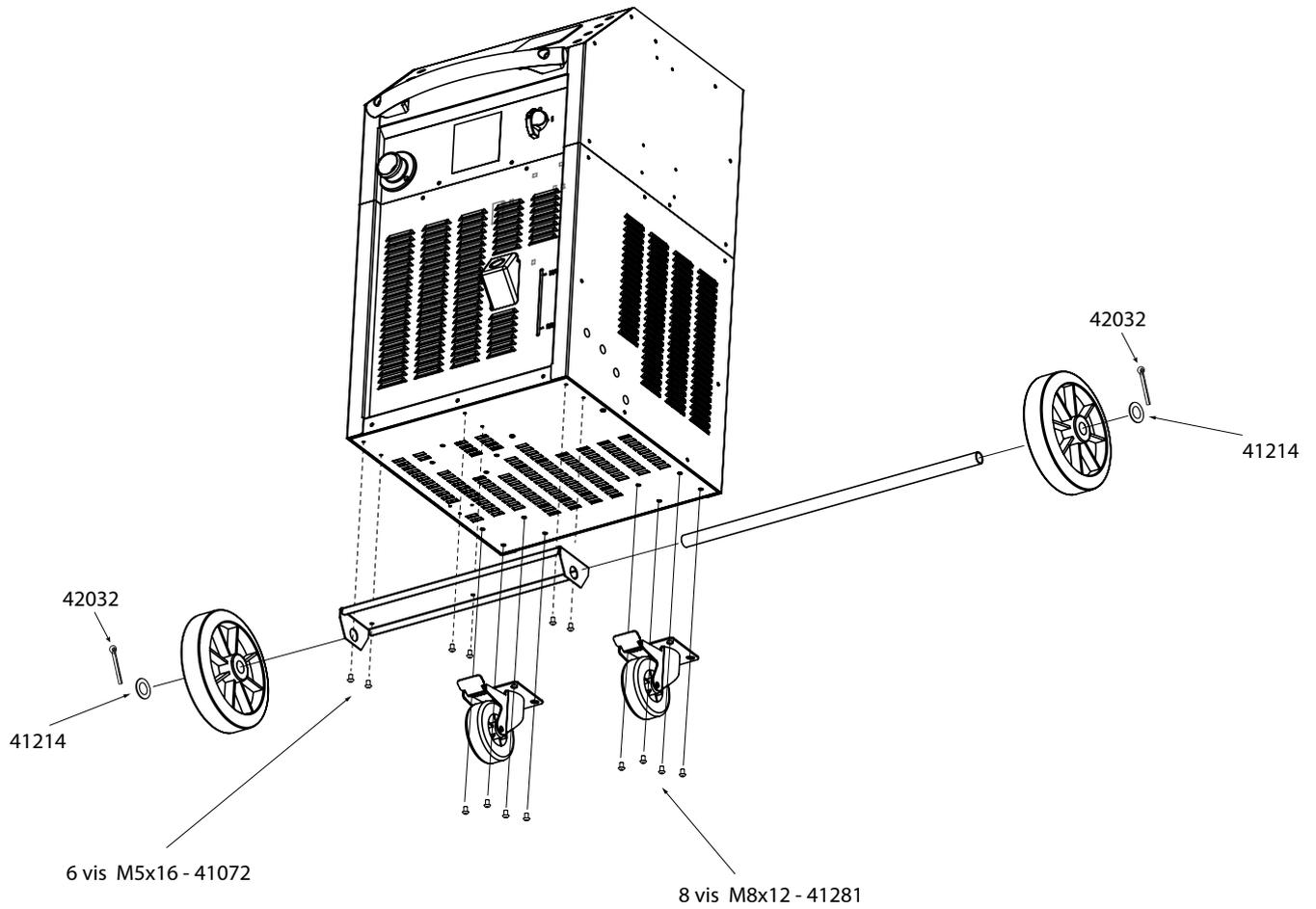


TRIMANシンボル

この製品は適切にリサイクルされることが好ましいです。

組み立て

50LG



製品の識別

製品の背面には CEマーキングが貼付された識別プレートがあります。

- 製造社名と住所
- 製造年月日
- モデル
- 製品タイプ
- 使用電圧

これらの情報は、メンテナンスやアフターサービスの介入ごとに常に表示が必要になります。

製品仕様

	37LG	39LG	50LG
定格入力電圧	165V - 265 V		
定格周波数	50Hz-60 Hz		
導体数	1相+アース		
定格入力電流	21.2 - 13.2 A		25 - 20 A
定格入力電力	3 700 W	3 700 W	5 200 W
処理周波数	15-30 kHz, マイクロプロセッサ制御	20-60 kHz, マイクロプロセッサ制御	
定格出力	1 800 W	1 800 W	2 800 W
電源ケーブルの長さ	2 m	6m	8 m
ランスの長さ	2 m	[correspondance]1 m	[correspondance]1 m
タンク容量	1, 5リットル		7リットル
冷却水	溶接用特殊冷却液 2リットル 商品番号 082212	溶接用特殊冷却液 5リットル 商品番号 062511	溶接用特殊冷却液10リットル 商品番号 052246)
保護数値	IP21		
最小寸法 発電機セット	4, 5 kVA		6, 5 kVA
重量 (付属品+液体を含む)	15kg	50 kg	70kg
寸法	45 x 28,5 x 25 cm	53 x 70 x 37 cm	88 x 59 x 59 cm
内蔵ヒューズ	-	T4 A - 250 VAC - 5x20	T4 A - 250 VAC - 5x20

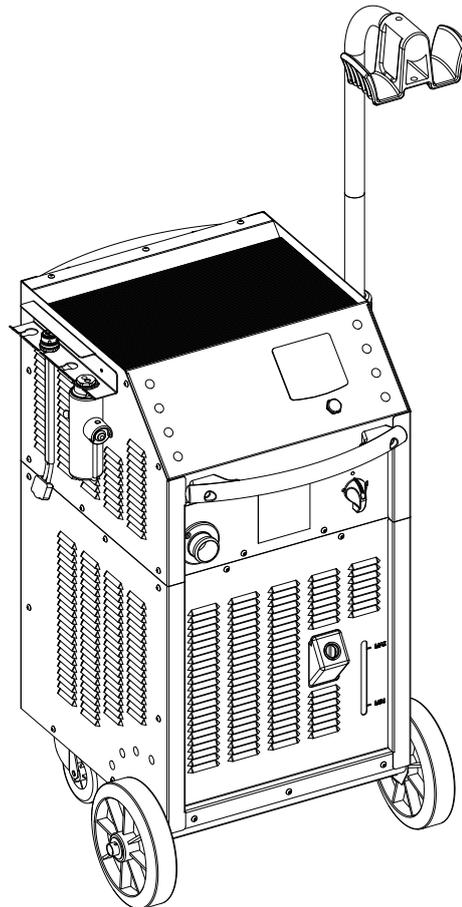
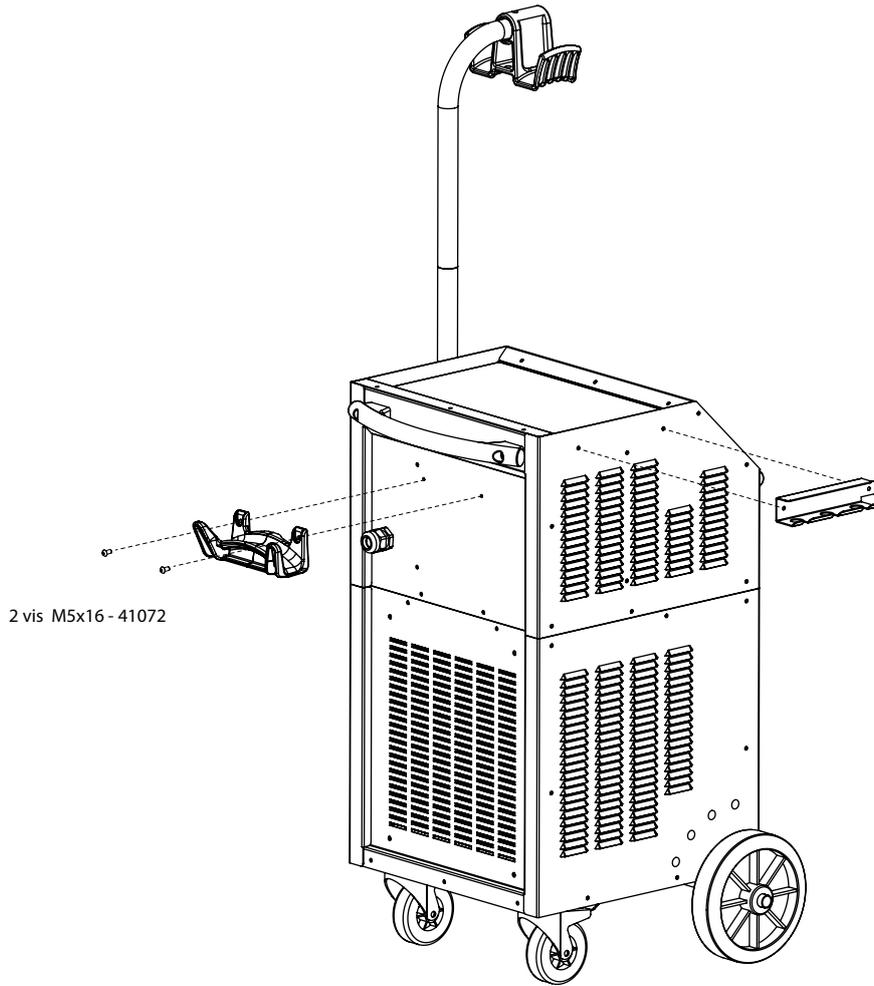
マシンの説明 (図I、II & III)

1	熱認証照光ボタン
2	メインスイッチ
3	加熱出力表示 (1 kW - 5 kW)
4	加熱パワー設定または温度単位ボタン
5	冷却水温度
6	インダクタまたは機械故障インジケータ
7	冷却回路警告アラームインジケータ
8	機械または冷却回路の熱保護インジケータ
9	インダクタ交換インジケータ
10	インダクタ変更モード起動ボタン
11	ランス・ボタン: 加熱開始
12	LEDワークライト (加熱箇所を照らす)
13	ランスの装着。27mmスパナ用
14	ランスの装着。32mmスパナ用
15	アダプター
16	インダクタ
17	コンプリート・インダクタ

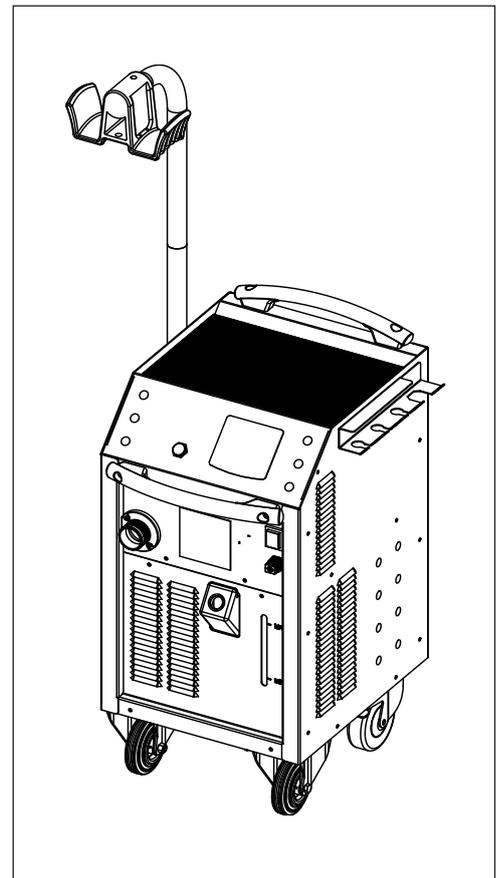
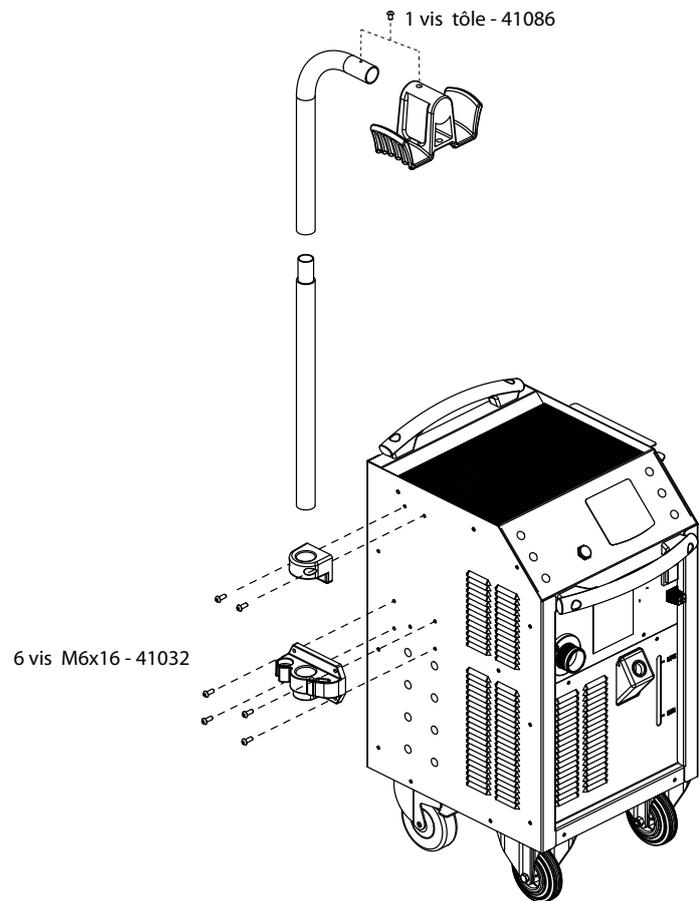
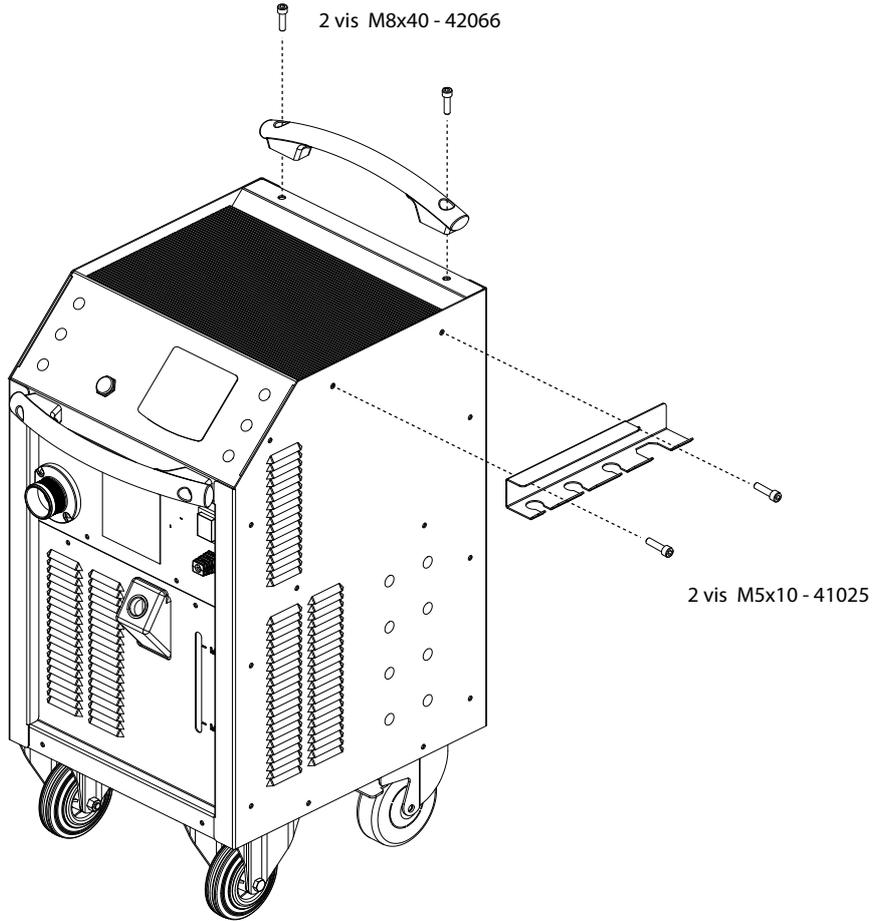
初回使用時

Powerduction 50LG には、5 極 32A 50Hz/60Hz プラグを装備した 8m の電源ケーブルが付属しています。最適な性能を発揮させるためには、本機を32Aの保護回路を備えた電源ネットワークに接続し、適用される規格に従って保護する必要があります。製品には32A-16Aアダプターが付属しています。このプラグは、短時間の間、16 A プラグで適切な保護をしながらマシンを作動させることができます (接続手順を参照)。

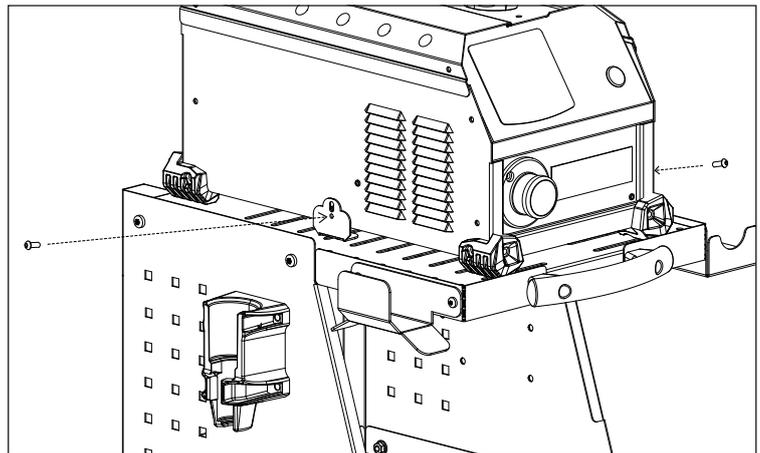
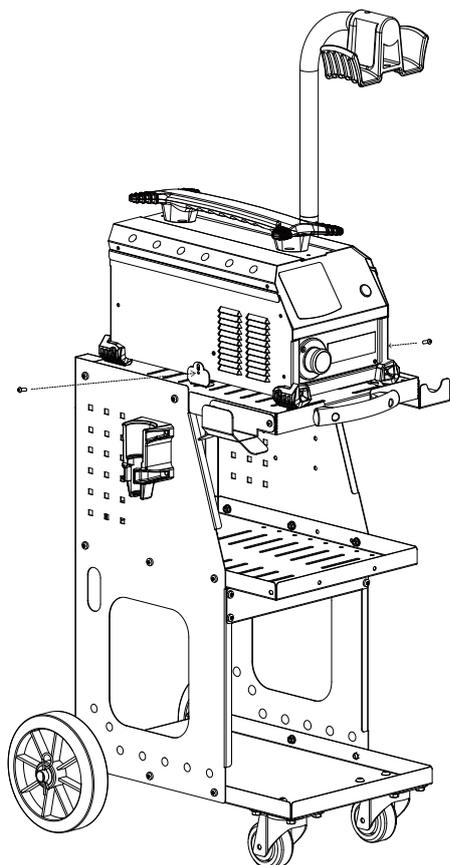
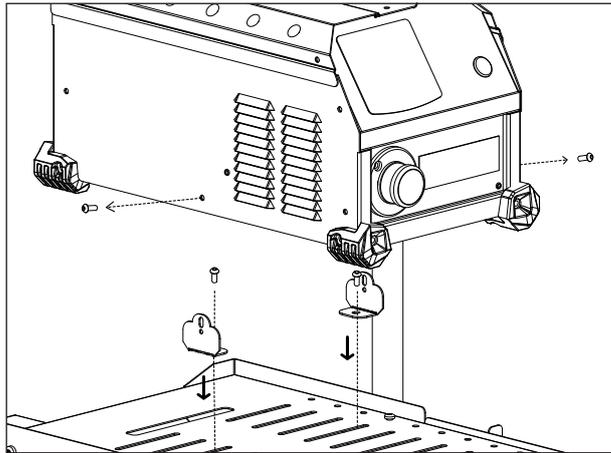
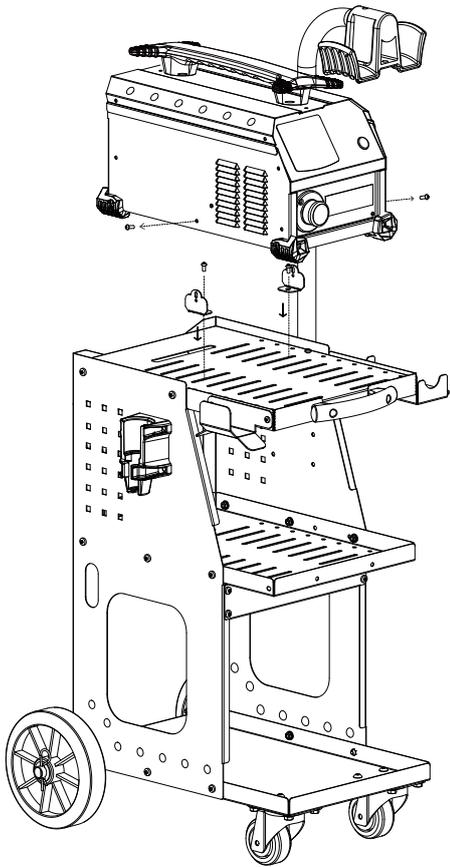
パワーダクション37LGと39LGには電源ケーブル (37LG : 2 m, 39LG : 4 m) 2 極 + アース 16 A 50Hz/60Hz プラグが付属しています。



39LG

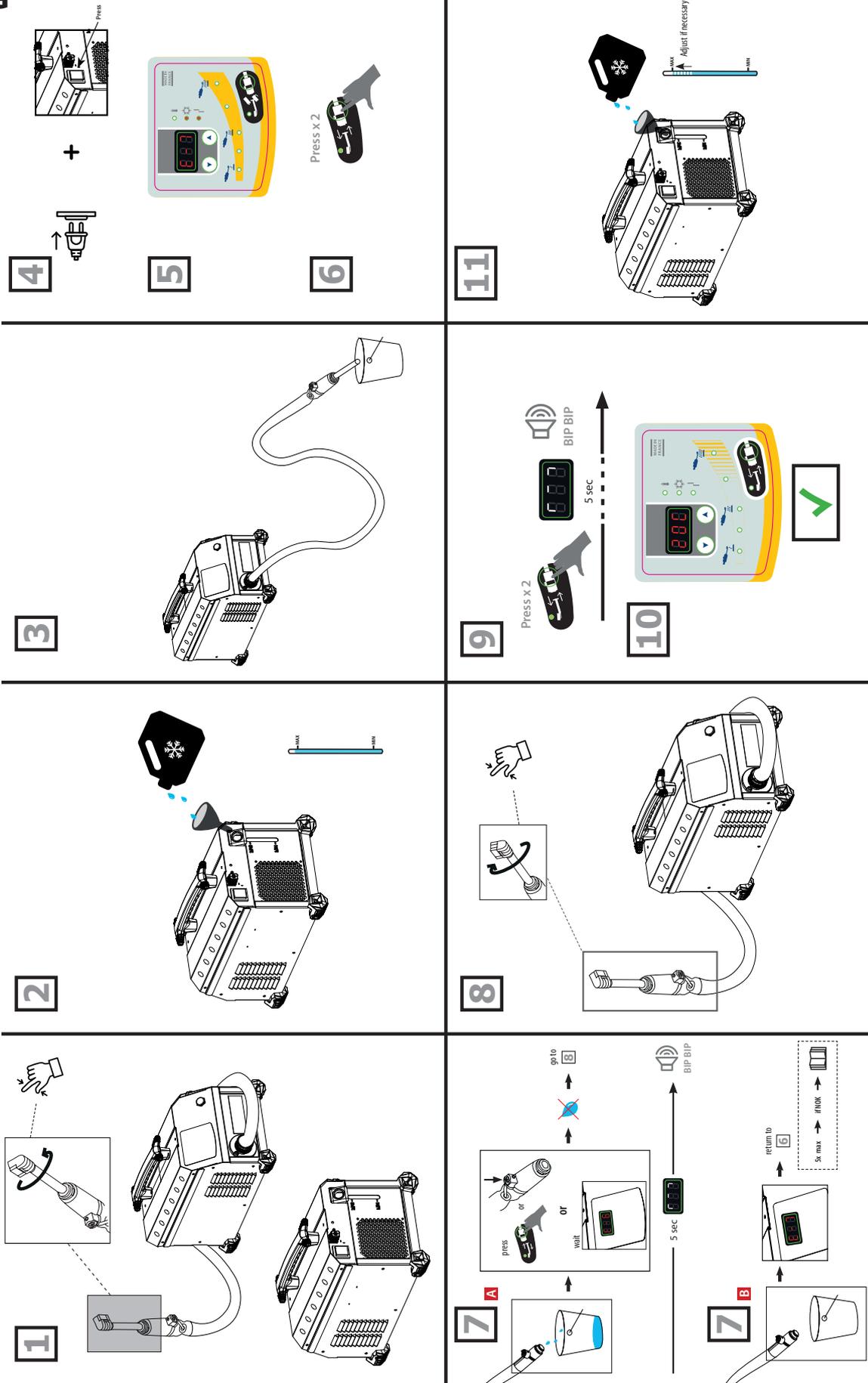


37LG (トロリーを選択した場合)

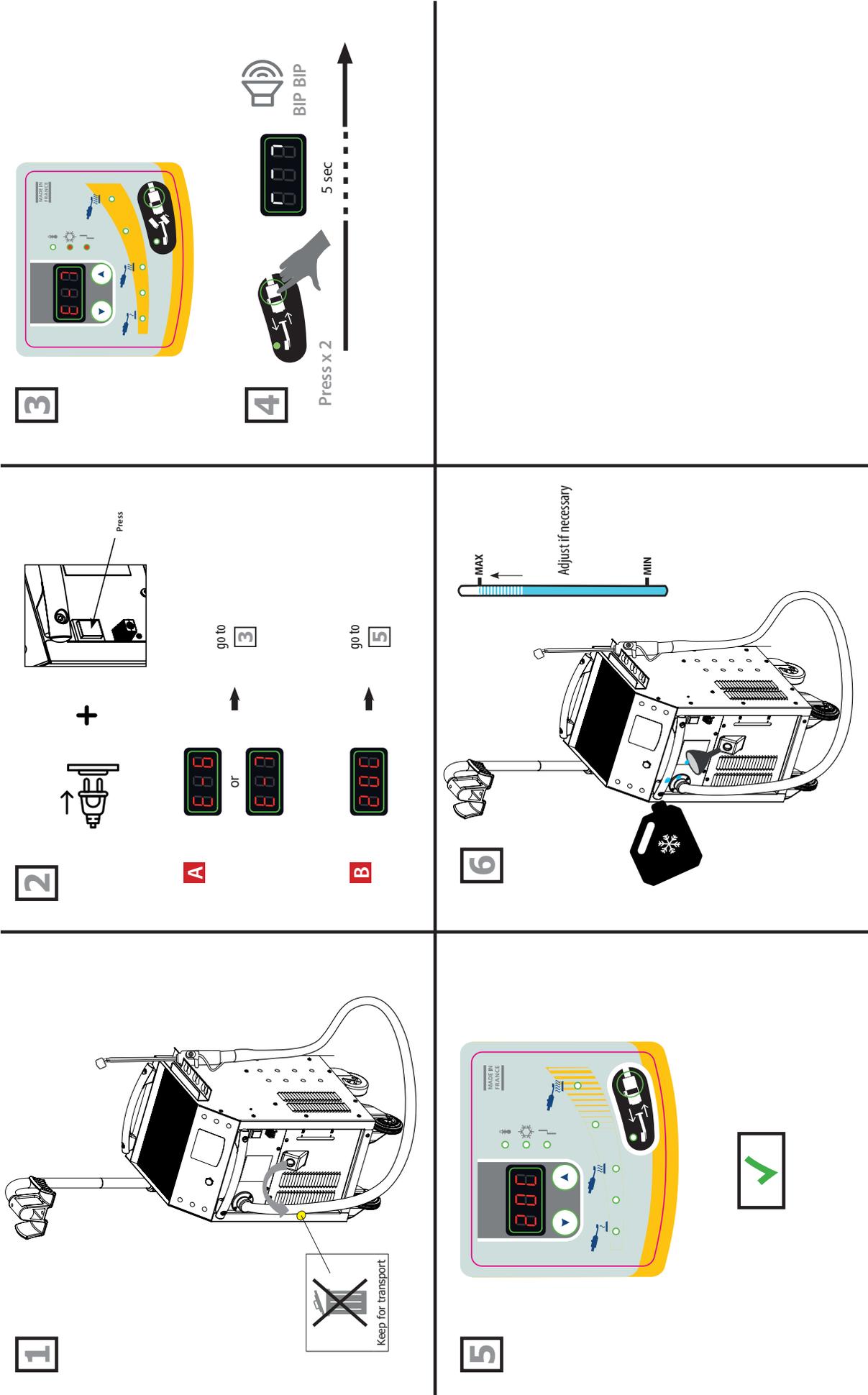


リザーバーの貯水

37LG



39LG



3

4

2

A

B

6

1

5

 Keep for transport



50LG

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

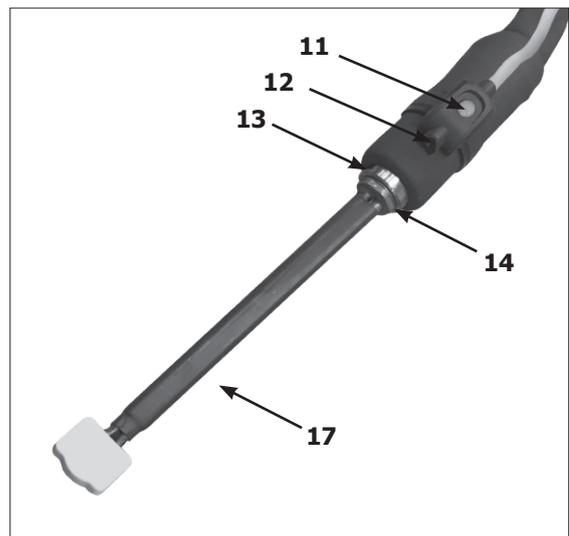
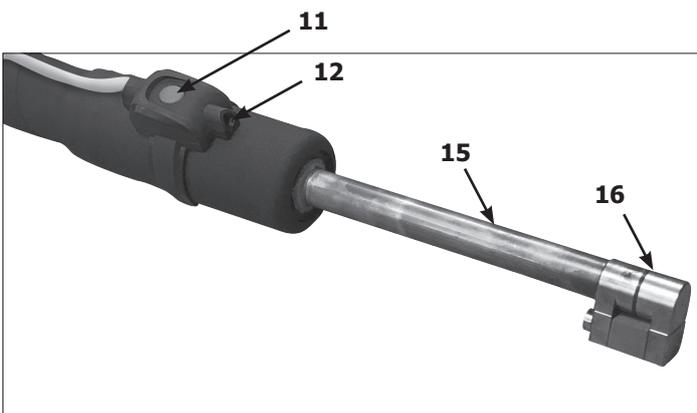
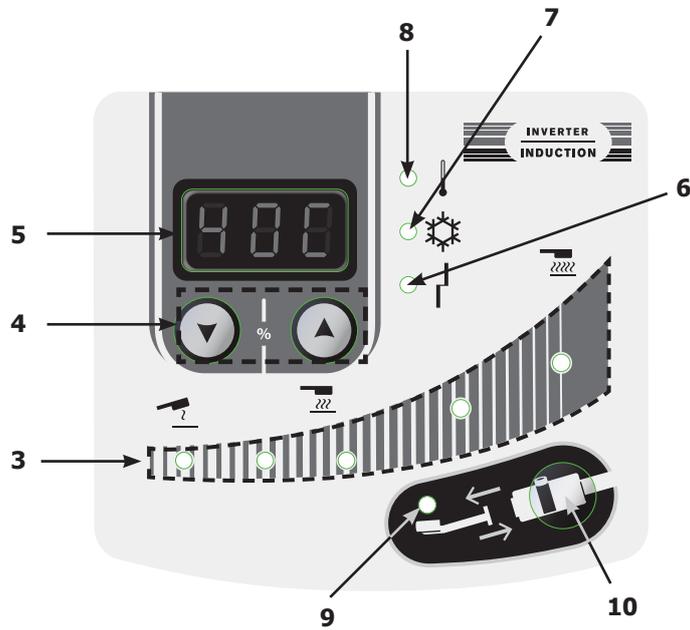
12

I



2 1

2 1



II

表示灯の反応



指標ステータス	
	点灯
	ゆっくり点滅
	素早く点滅
	スイッチオフ

%	パワー (W)			Indicator Status				
	37LG	39LG	50LG					
10	800W	1 kW	1 kW		●	●	●	●
20	1 kW	1, 5 kW	1, 5 kW		●	●	●	●
30	1, 25 kW	2 kW	2 kW		●	●	●	●
40	1, 5 kW	2,5 kW	2,5 kW			●	●	●
50	1, 75 kW	3 kW	3 kW				●	●
60	2 kW	3, 5 kW	3, 5 kW				●	●
70	2,5 kW	4 kW	4 kW					●
80	3 kW	4, 5 kW	4, 5 kW					●
90	3, 5 kW	5 kW	5 kW					
100	3, 7 kW	5, 2 kW	5, 2 kW					
Hi	--	3.7 kW	5, 2 kW					

パワー選択時 - bei der Auswahl der Leistung.
 - al seleccionar la potencia. - при выборе мощности. - bij het selecteren van de stroomvoorziening.
 - quando si seleziona la potenza.

- lorsque la chauffe est active. - 加熱が作動しているとき。 - wenn die Heizung aktiv ist. - cuando la calefacción está activada. - когда отопление- wann er de verwarming actief is. включено. - quando il riscaldamento è attivo.

1. 製品が組み立てられたら ランスをサポート (50LG) または上向き (39&37LG) に置きます。ランスのキャップとタンクのキャップを外します。トーチキャップとタンクキャップを取り外します。
2. 冷却液を注ぎ、タンク最大まで満タンにします。
3. トーチをバケツの中に置きます。
4. 本機を主電源に接続します。
マシンのスイッチを入れます(1)。
5. マシンが起動し、エラー7が自動的に表示されます。
6. アクセサリーチェンジボタン(10)を2回押します。ページ・サイクルには5秒かかり（その間、通常ローディング・アイコンが表示されます）、完了を示す「ビープ音」が2回鳴ります。
7. トーチから液体が出たらすぐに トーチボタンを押してトーチを停止します。アクセサリー変更ボタンまたは熱認証ボタンを押します。または「E-6」が表示されるのを待ちます。
エラー7が表示された場合 ステップ6からやり直してください（最大5回） デフォルト E-7 の説明を参照）。
8. 最大 7Nm のカップリングでインダクタをねじ込みます。
9. アクセサリーチェンジボタン(10)を2回押します。ページ・サイクルには5秒かかり（その間、通常ローディング・アイコンが表示されます）、完了を示す「ビープ音」が2回鳴ります。
10. 冷却液の温度と電源指示が表示されます。
11. 必要であれば、タンクに冷却液を補充してください。
12. 付属品に付いているキャップでタンクを閉じます。この状態でマシンは使用できる状態になりました。

1. E-7エラーを解決する

それでも改善されない場合 ポンプが正しく作動しているか、パイプが詰まっているか確認してください。

ページに5回失敗してしまった場合、以下のことを試して見てください。

- トーチをマシンの上に伸ばして水の溜まりをなくし、ポンプを作動させます。
- マシンをトーチに対して30°の角度にします。
- トーチの中を吹きとばすことも可能です。その際は送風機を布で防水し、突起物がとび出ないようにしてください。
- 上記の動作を、1~2サイクル再試行してみてください。

それでも改善されない場合 ポンプが正しく作動しているか、パイプが詰まっているか確認してください。

使用説明

1. メインスイッチ(1)をONにします。
マシンは2秒で初期化されます。
2. 11ページの説明に従って熱認証ボタン(2)を押します。ボタン(2)とランスサポートLED(12)の両方が点灯し、マシンが操作可能であることを示します。
3. インダクタ(13)を被加工物の上に平らに置きます（フェライトの開いている部分を被加工物に向けて置きます）。
4. ランスのボタン(11)を押して加熱を開始します；必要であれば、インダクターを動かしてより広い範囲を加熱します。2つのインジケータは、加温が有効であることを示します：
 - インダクター(12)を照らすLEDの明るさが減少します*。
 - 加熱パワーインジケータ (3) の最小パワーインジケータランプが素早く点滅します（HIモードでは最小と最大の両方のランプが点滅します）。

加熱中に定格電力を変更することも可能です。



加熱設定値はHiに設定できます。出力は100%モードと同じだが、パワーアクションの動作が異なります：

- 100%時： パーツを赤く着用し、適切なパワーを数秒間維持した後、ゆっくりと最大パワーに達します。
- Hiモードの場合： 加熱される場所の状態に関係なく、最大出力まで一気に上昇します。加熱は強く、速いので、このモードをコントロールしないと部品を損傷する恐れがあります。

ディスプレイは、冷却液温度（最大60°C/140°F）を連続的に更新します。

電源投入時、ポンプと冷却ファンが数秒間作動し、正常に作動していることを確認します。

加熱停止後 直ぐに電源を切らずに 先に冷却回路を作動させ、インダクタを冷却させてください。

冷却液の温度単位を変更するには 希望の単位が表示されるまで、両方の設定ボタン(4)を押し続けます（« -F- « =華氏 / « -C- « =摂氏）。ボタンを離すと 変更が保存され、有効になります。



この機械は、電磁界によるリスクを最小限に抑えるように設計されています。また、インダクターと作業者の頭や胴体との間に安全な距離を保つことをお勧めします。

待機熱

セキュリティ上の理由から、5分間操作されないと、製品は熱認証を解除します。熱認証ボタン・インジケータとランスサポートLEDの両方が消灯します。

マシンを再起動するには熱認証ボタン(2)を押すか、ランスボタン(11)を1秒間押し続けます。

この機能は、20分間操作がないと無効になります。

これにより、作業者はマシンに手を伸ばすことなく、作業姿勢を保つことができます。

インダクタ保存

加熱された金属は、加熱された温度の2乗でインダクターに熱を放射します。その結果、インダクターは大きく露出することになります。金属が暗赤色の場合、温度は850℃以下です。真っ赤/オレンジになると温度は1000℃を超えます。白くなったら温度が1200℃を超えています(下のグラフはウェブサイトのマニュアルにカラーで掲載されています)。

600℃

900℃

1300℃

インダクターを維持し、その耐用年数を延ばすためには、できるだけ850℃前後の温度に保ち、長時間の使用を避ける必要があります。

インダクタ内のフェライトは、その支持体よりも高い膨張係数を持ちます。インダクターの過度の加熱は、フェライトに歪みを生じさせますので過度の加熱を避けるよう、ご注意ください。



したがって、インダクタは消耗品であり、保証は適用されません。

警告灯

- インジケータ6は、機械/インダクタの異常を知らせます。
- インジケータ7は、冷却回路液流失を知らせます。
- インジケータ8は、パワーブロックの熱保護または冷却液の過度の温度超過を知らせます。

インジケータが消灯し、マシンが操作できる状態になるのを待ちます。

ディスプレイ 5 にエラーコードが表示されます：

エラーコード		原因
E-1	熱認証ボタン(2)が動かない。	短絡しているか、機械的に遮断されている。
E-2	ランスボタン (11) が動かない。	短絡しているか、機械的に遮断されている。
E-3	キーパッドのボタンが(9)と(11)で動かない。	短絡しているか、機械的に遮断されている。
E - 4*	インダクタの強度が高すぎるか、互換性がない。	ランスまたはインダクタが短絡している。
E - 5*	インダクタの強度が低すぎる。	インダクタが正しくねじ込まれていないか、またはランスに欠陥がある。
E-6	流量が高すぎる >6 l/分。	ホースに穴が開いているか、インダクタが欠落している。
E-7	流量が低すぎる <4 l/分。	ホースがつまったり、閉塞したりすると、ポンプが作動しない。
E - 8*	内部故障。	フラットコマンドケーブルが外れている。
E - 9	電圧ネットワークの故障。	ネットワーク電圧が165V未満で低すぎる。
---	過電圧故障。	300V以上の電圧。

*E-4、E-5、E-8 フォルトの場合は、ユニットを再起動してフォルトを修正します。

重要：警告アラームが鳴った場合 機械は作動しません。

本機には、過充電や冷却不良に対する複数の保護システムが装備されています。インダクターの熱保護は、主にステンレス鋼、銅、アルミニウム部品を加熱する際に使用されます。マシンを再起動するには冷却段階が終了するのを待ちください。その他の保護については、主電源スイッチでマシンのスイッチを切り、再びスイッチを入れてください。

エラーアラームE-6およびE-7については、漏れがないか、ホースに障害や破損がないか、ポンプがブロックされていないか、作動停止していないか、タンク内に十分な冷却液があるかを確認してください。

問題が修正されたようであれば「インダクター変更」ボタンを2回押ししてください(10)。冷却回路がパージ・サイクルを実行します。その後、操作が可能な状態になります。

タイムディレイ・モード

タイミング機能により、パワーダクションの加熱時間をコントロールすることができます。時間幅は1秒から30秒まで調整可能です。

このモードに入るには：

1. 加熱許可ボタン(2)を押します。インジケータランプが点灯します。
 2. 次に、両方の電源調整ボタン(4)を同時に押します。ディスプレイには、“SEC ”の後に “T 00”、またはすでに時刻が設定されている場合は“SEC ”の後に“ON ”と表示されます。
 3. 電源設定ボタン(4)が時間設定ボタンになります。設定値を随時変更することができます。
- ⚠ 時間値が3秒以上変更されず、まだ“T 00 ”を表示している場合、Powerductionは通常モードに戻ります。

「タイマー」モードで使用：

時間設定値が選択されると、製品は操作可能な状態になります。LED (12)が点灯します。

1. ランス・ボタン(11)を押してください。LED(12)の強度が低下し、加熱が有効であることを示します。
2. 制限時間が終了すると加熱は停止します。ランスボタン(11)が押されている間、LED(12)と加熱可能ボタン(2)が点滅し、電源が切れていることを警告します。必要に応じて設定時間を調整します。
3. ランスボタン(11)を押して、新しい加熱サイクルを行います。

「タイマー」モードを終了する

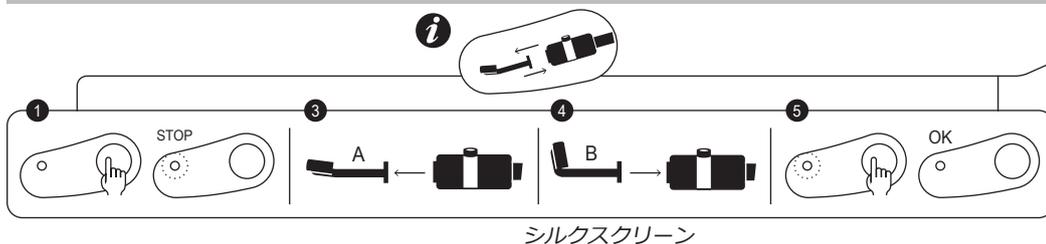
このモードは、Powerductionのスイッチをオフにして再びオンにしても、常にアクティブなままです。

1. モードを終了するには、時間設定値を∞に設定するか、両方の電源コントロールボタン(4)を同時に押してください。Powerductionは通常モードに戻ります。ディスプレイには“SEC ”の後に“OFF ”と表示されます。

このモードでの電力設定の特別な特徴。前述の通り、通常使用モードでは設定ボタンでパワーを変更できるが、このモードでは時間設定値を変更することができます。このモードのままでもパワーを変更するには：

1. 加熱許可ボタン(2)を押します。緑色のランプが消えます。
2. 設定ボタン (4) でパワーを変更できます。パワーを調整してください。
3. もう一度ボタン(2)を押します。インジケータランプが点灯します。設定ボタン(4)が再び時間設定になります。

「アクセサリ交換」モード



最大締め付けトルク = 7N

このモードは、加熱を作動させていない（緑色のボタンがオフ）場合にのみアクセス可能です。

1. ボタン(10)を押すとポンプが停止し、LED(9)が点灯します。
2. ランスをサポートに置き、ケーブルを地面に置きます（冷却液の損失を防ぐため）。
3. パワーダクションに完成したインダクターが装備されている場合、27のキー（製品に付属）でネジを緩めてください。簡易インダクターが装備されている場合は、手動でネジを緩めてから、必要に応じてアダプターのネジを緩めてください。

⚠ Powerduction 37LGは固定接続Sを装備しており、ネジを外すことはできません。

4. インダクターの選択次第： 付属のレンチを使用して完成インダクタをねじ込むか、適切なアダプター（最大 7N.m）をねじ込んでから、新しいインダクタを手動でねじ込んでください。
5. ボタンをもう一度押してください(10)。

ポンプが起動します。5秒間、LEDは待機パターンを表示します。

流れが正しければ、機械は二重の「BEEP」音を発し、製品は操作可能な状態になります。

そうでない場合は、エラーが表示されます（エラーコード表を参照）。

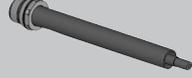
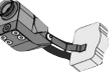


インダクタとアダプタ

パワーダクション 37LG は固定 S 接続で、S90 または S180/B3W インダクターが標準装備されています。(モデルによって異なります)。
 パワーダクション 39LG および 50LG には、C20/B1 インダクター式または 28S + S90 アダプタが標準で付属しています(モデルにより異なります)。
 その他のアクセサリはオプションで、幅広い用途に加熱の可能性を広げます。

全製品を
見る

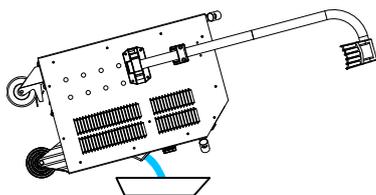


コンプリート・インダクタ		アダプター			
 C20/B1 品番 056862	 28S 品番 064485	 28L 品番 064492			
 C180/B1 品番 056879	インダクタ				
 C180/B2 品番 056886	 S90 品番 058927	 S70 品番 061569	 L90 品番 059788	 L180 スパイラル 品番 065000	
	 S180 品番 059269	 S20/B1 品番 064874	 L70 品番 059771	 L20/B4 品番 067882	
	 S180/B1 品番 064881	 S180/B3 W 品番 067899	 L180 品番 059795	 L20 アルミ・グローブ 品番 069114	
				 L180 D80 品番 069121	

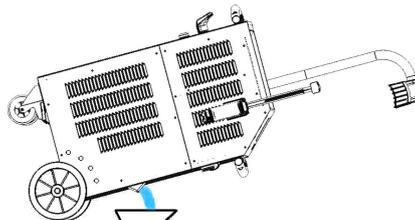
「パージ」モード (39LG & 50LG)

このモードは、加熱が作動していない(緑色のスイッチがオフ)時にのみ有効です。

1. (10)ボタンを押すとポンプが停止し、LED (9) が点灯します。
2. トーチをサポートに置き、ケーブルを床に置きます(液体がこぼれないようにするため)。
3. キー-27(本機に付属)を使用して付属品のネジを緩めます。
4. 加熱認証ボタン(2)を点灯するまで3秒間押し続けます。
5. トーチを容量10L以上のバケツの中に置きます。
6. トーチボタン (11) を押してください。排水量が1分~2分あたり1lを下回るまで、ポンプは作動します。デシリットル/分単位で表示されます。
7. サイクル中にポンプを中断するには、いずれかのボタンを押してください。
8. 冷却回路を空にするには、送風機を使ってトーチの先端に空気(30PSI)を吹き付け、空気が流れる音やタンクから液体の噴出する音が聞こえるようにします。
9. タンクを空にするには、ポンプを使うか、マシンを前に押し斜めにします。



39LG



50LG

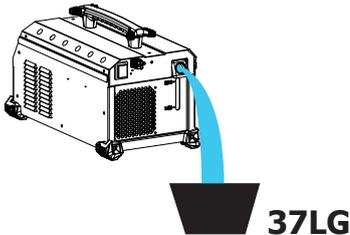
10. 冷却液の補充については、取り付け説明章を参照してください。

頻繁に使用する場合は、1年毎に冷却水を交換することをお勧めします。冷却水を交換しなければ、パワー誘導ランスが劣化するおそれがあります。Powerduction専用とされている特別な溶接冷却水を使用することをお勧めします（§メンテナンス項参照）。

「パージ」モード (37LG)

このモードは、加熱が作動していない（緑色のスイッチがオフ）時にのみ有効です。

1. インダクターが上を向くように置きます。液体がこぼれないようにケーブルを床に置きます。
2. 付属品のネジを手動で緩めます。
3. トーチを容量10L以上のバケツの中に置きます。
4. タンクを空にするには、トーチを容量10L以上のバケツの上に置き、製品を背もたれに傾けます。



37LG

頻繁に使用する場合は、1年毎に冷却水を交換することをお勧めします。冷却水を交換しなければ、パワー誘導ランスが劣化するおそれがあります。

冷却回路と「強制冷却」モード (39LG & 50LG)

冷却液の温度上昇を防ぐため、冷却ファンは、液温が35°C (95°F) に達した時点で始動します。気温がそれ以下になるとすぐに冷却ファンのスイッチが切れます。

長時間の使用時 POWERDUCTIONには強制冷却モードがあります。それを起動させるには：

1. メインスイッチ (1) を ON にします。マシンは2秒で初期化されます。
2. 5ページに記載されているように、起動ボタン(2)を押します。ボタン(2)とランスサポートLED(12)の両方が点灯し、マシンが操作可能であることを示します。
3. ボタン (10) を押し続けます (3 秒以上)。「強制冷却」モードが有効になります。その後、冷却ファンが自動的に始動します。冷却ファンの音が聞こえ、ディスプレイに «Fan ON «のメッセージが表示されます。

「強制冷却」を停止させるには、作動ボタンを押して加熱を止めるか、ボタン(10)をもう一度押し続けます。「Fan OFF」のメッセージが表示されます。

メンテナンス

一般的推奨事項

- 1年毎に冷却水を交換することをお勧めします。冷却水を交換しなければ、パワー誘導ランスが劣化するおそれがあります。
- Powerduction専用とされている特別な溶接冷却水を使用することをお勧めします。自動車用流体は使用せず、電気伝導度の低い冷却水のみを使用してください。
- Powerduction専用とされている特別な溶接冷却水を使用することをお勧めします。自動車用流体は使用せず、電気伝導度の低い冷却水のみを使用してください。

パワースクリューの推奨締め付けトルク

ネジ寸法	M5	M6	M8	M10	ホースクランプ	ガス1/4 3/8ガス	M28	M32	インダクタ 16/22
材質	鋼鉄	鋼鉄	真鍮	真鍮			銅	銅	銅
組み合わせ	4 Nm	6 Nm	7 Nm	7 Nm	2,5 Nm	4 Nm	7 Nm max	7 Nm max	手作業で、 4 Nm max

- 製品のメンテナンスは、本取扱説明書に記載されている推奨事項を十分に理解し、資格を持った専門のスタッフが行うことが不可欠です。
- 製品使用中に洗浄、注油、メンテナンス作業は絶対に行わないでください。
- 不適切な取り扱いによる感電やその他の危険を防ぐため、メンテナンス作業を行う前に、オン/オフスイッチを» 0 «にセットしてマシンの電源を切り、主電源から切り離してください。
- 指輪、時計、アクセサリ、吊り下げ式の衣類（ネクタイなど）、破れた衣類、スカーフ、ボタンやファスナーのないジャケットなど、本機の運転中に引っかかる恐れのあるものは着用しないでください。
- 滑りにくい靴、防音ヘルメット、保護メガネ、安全靴など、事故防止のために特別にデザインされた衣服を着用してください。
- 製品の洗浄には、ガソリンや可燃性溶剤は絶対に使用しないでください。水、または必要に応じて毒性のない市販の溶剤を使用してください。
- メンテナンス後は、必ず金属カバーを元に戻して固定してから、マシンのスイッチを入れてください。

インデューサのフェライトは、損傷した場合は交換可能です。

交換するには：

- プロテクションを外します、
- 樹脂の除去を容易にするため、銅上のフェライトをヒートガンで除去します、
- 銅を洗浄し、
- フェライトを特定の樹脂で接着します、
- フェライトを保護した状態で再度配置し、
- インダクタを使用する前に、接着剤が完全に固まるのを待ちます。

アクセサリ		
39LG - 50LG		37LG
ケーブルハンガー		
 052284		 固定ブラケット2個 (トロリーを選択した場合)
オプション		
39LG - 50LG		37LG
フェライト	保護	UNIVERSAL 800 +ケーブルハンガー
 053823	 056909	 051331 + 052284
 053458	 056916	
インダクター用接着剤キット		
075948	 +  054851 二液型パワーエポキシ接着剤 50ml	
溶接用特殊冷却液		
2 リットル	10 リットル	5 リットル
 082212	 052246	 062511

予防的メンテナンス

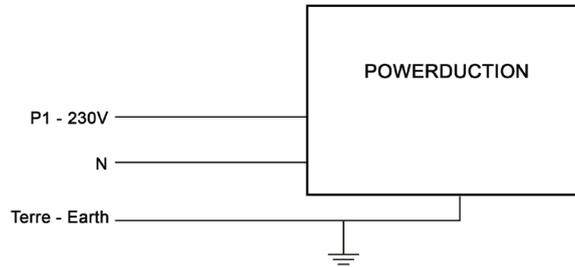
故障を素早く発見し、対処するために定期的に入念な点検を行ってください。

-  POWERDUCTIONの各使用の前に、本機のセキュリティーシステムや、本機の正常な動作を妨げる可能性のある異常がないか確認してください。毎日点検を行い、消耗のサインを確認してください。
- 修理が正規のスペアパーツを使用して行われ、メンテナンス指示に従った場合にのみ、製品の動作安全性が保証されます。
-  各使用後、製品の電源がオフになったら、すぐに清掃してください。使用後すぐに清掃することにより、冷却効率低下を避け、製品が適切な機能と共に運転し続けられます。毎回使用する前に、メインシステム、セキュリティーシステム、すべての電気ケーブルの接続が正常に動作していることを確認してください。
-  定期的な目視点検を実施し、冷却液の漏れがないことを確認し、通気孔が閉塞していないことを確認してください。

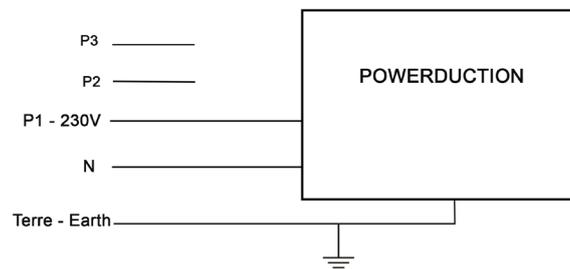
電気的接続

本製品は、165V～265Vの単相電源で動作するように設計されています。

On single-phase electrical installation 230V :



On three-phase electrical installation:



保証

保証期間は購入日から2年間です（交換部品および手数料）。

以下の場合には保障対象外になります：

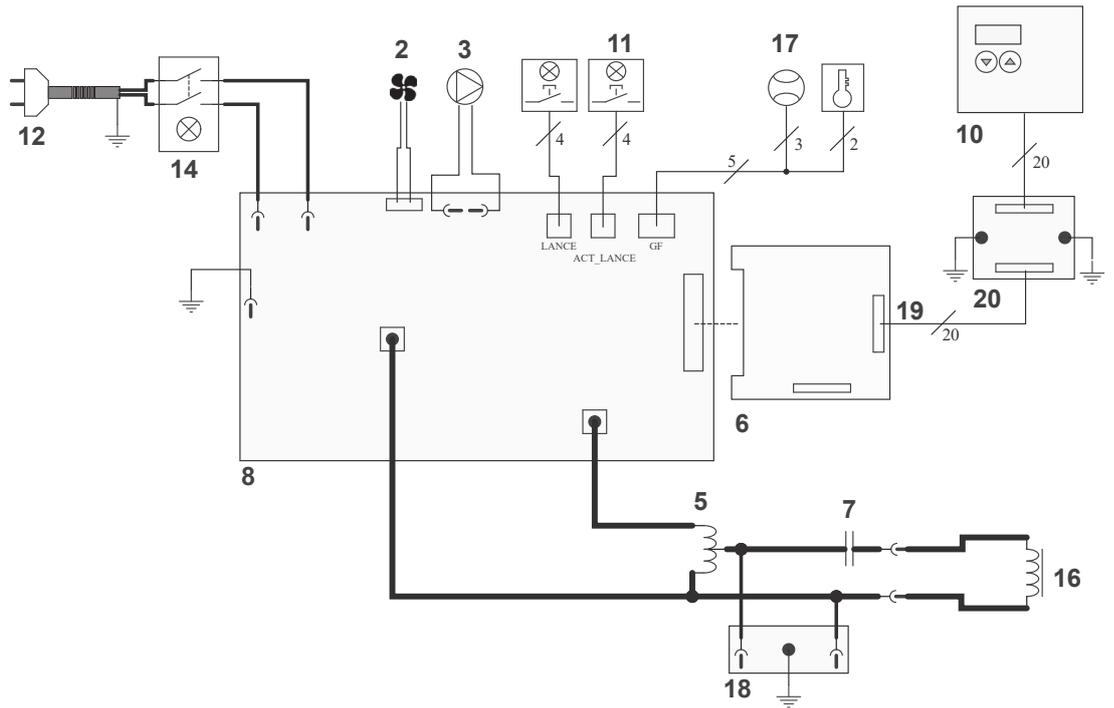
- 運送中の事故
- 部品の通常の摩耗（例：ケーブル、クランプ、など）
- 誤まった使用方法による損傷（電源エラー、機器の落下、分解など）。
- 悪環境内での使用による故障（汚染、錆、ほこりなど）。
- 消耗品であるインダクタと取り外し可能なフェライト。
- 指定されていないクーラントの使用。

故障の場合には 以下の書類と共に販売店へお問い合わせ下さい：

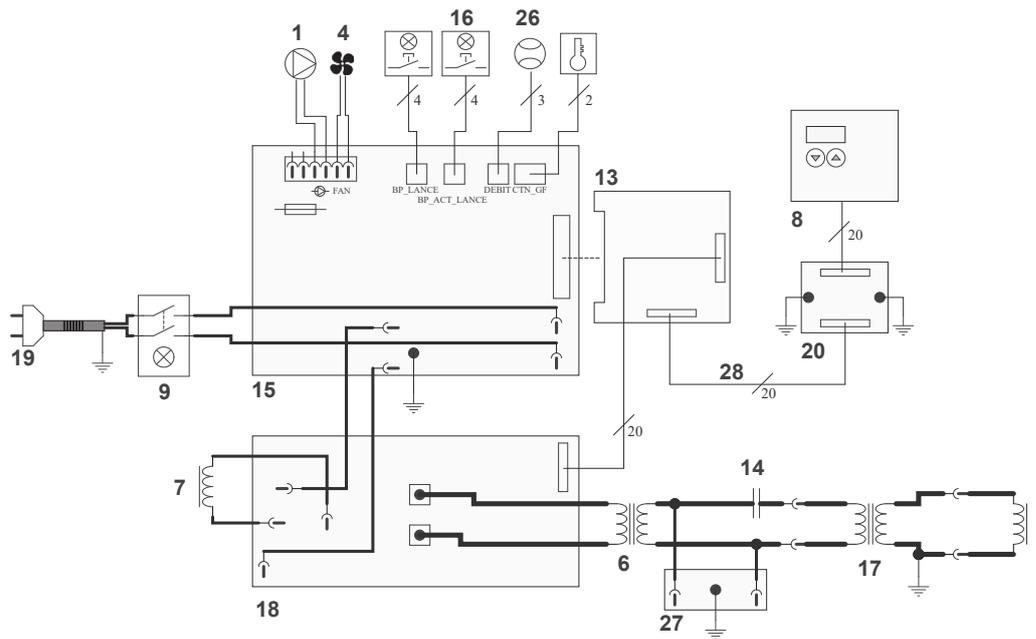
- 購入記録 (レシートなど)
- 故障の詳細記述

電気回路図

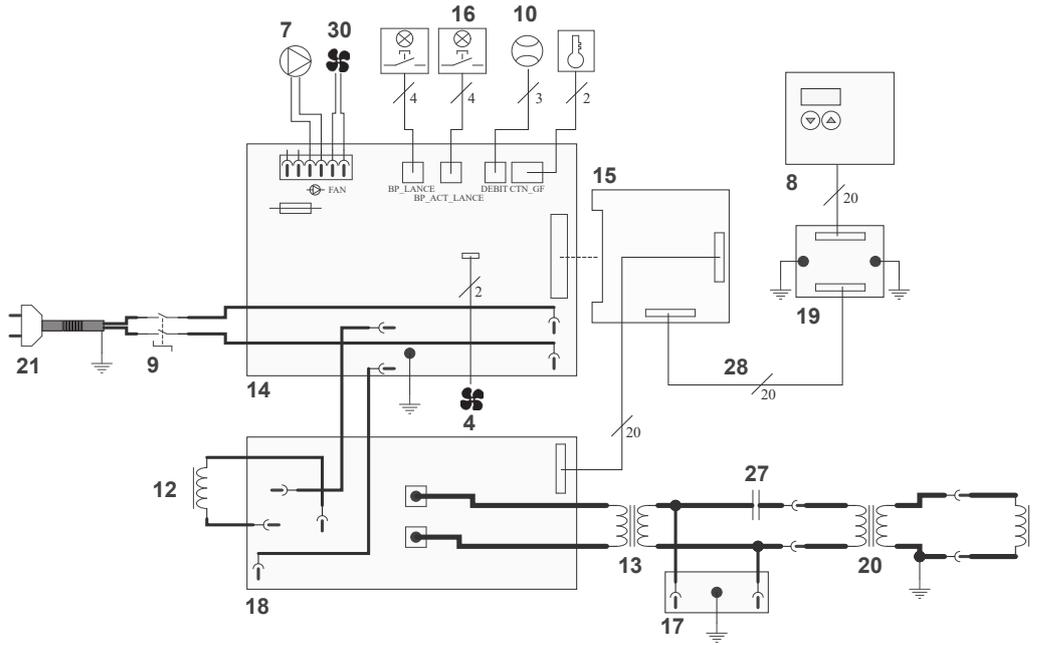
37LG



39LG

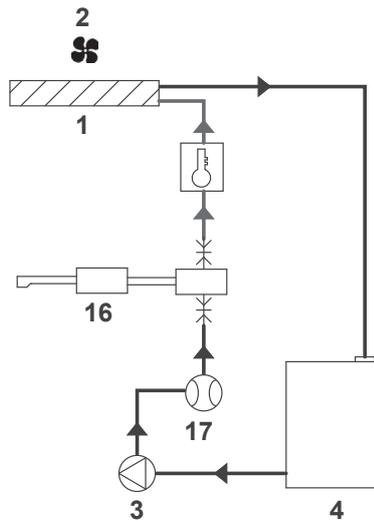


50LG

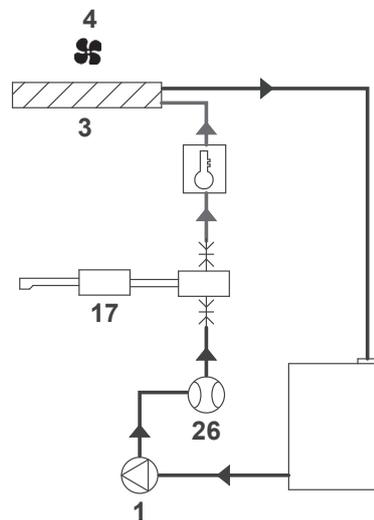


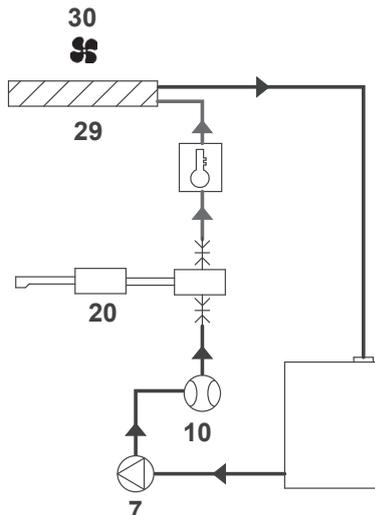
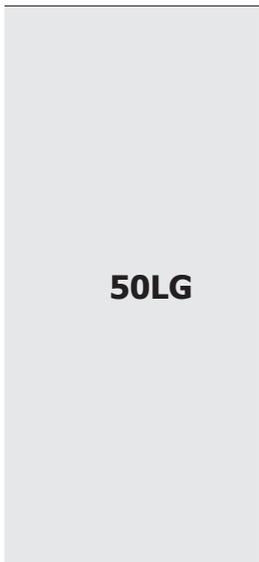
冷却回路図

37LG



39LG



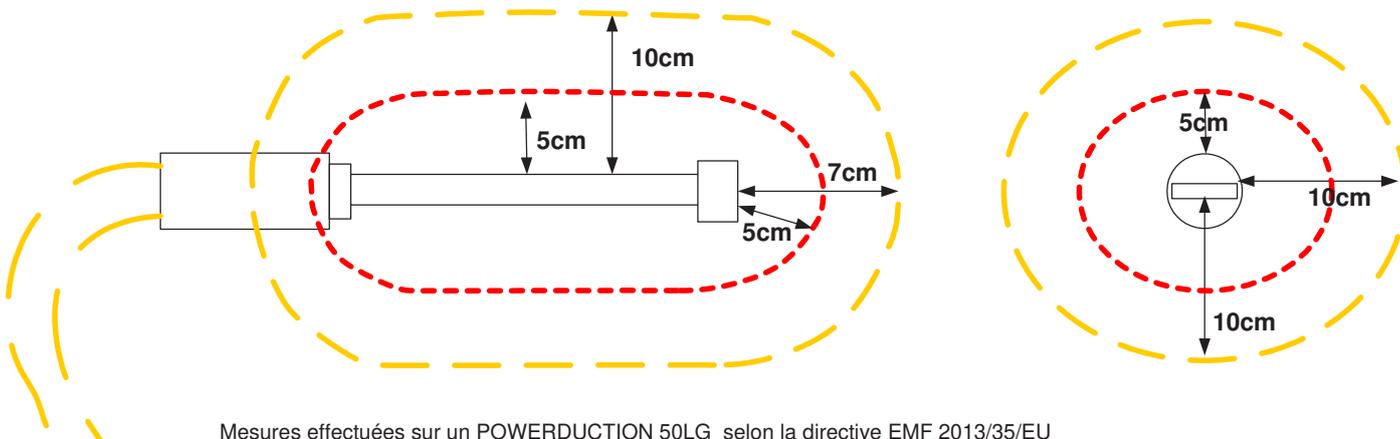


距離 EMS

POWERDUCTION 50 LG

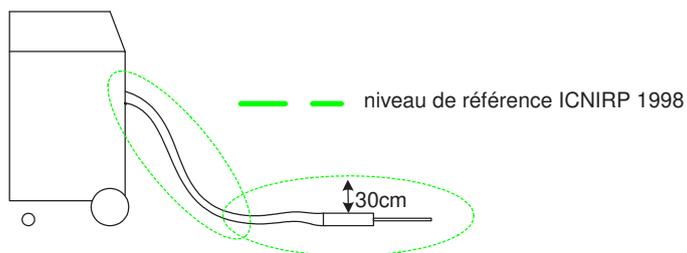
--- VA pour une exposition des membres

--- VA haute/basse



Mesures effectuées sur un POWERDUCTION 50LG selon la directive EMF 2013/35/EU

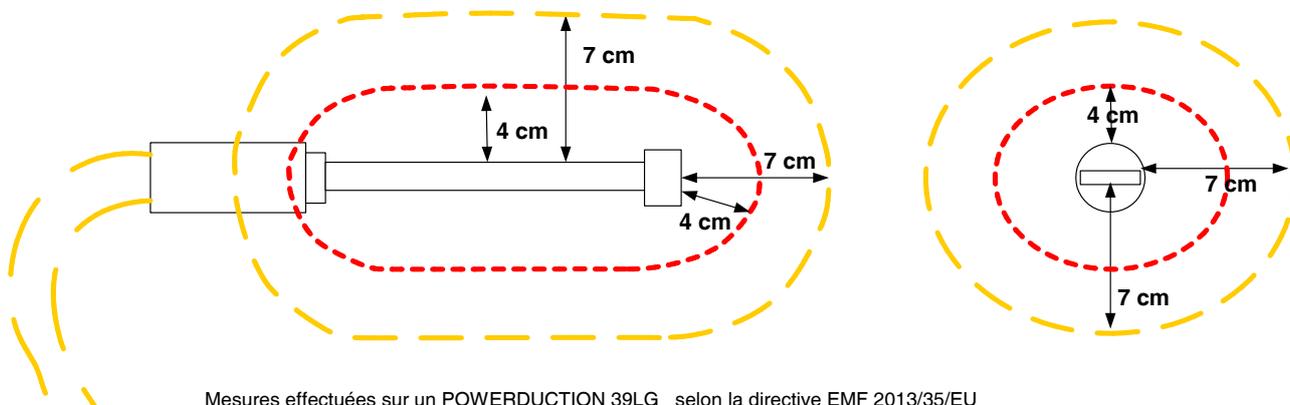
plan globale du produit



POWERDUCTION 39 LG

--- VA pour une exposition des membres

--- VA haute/basse

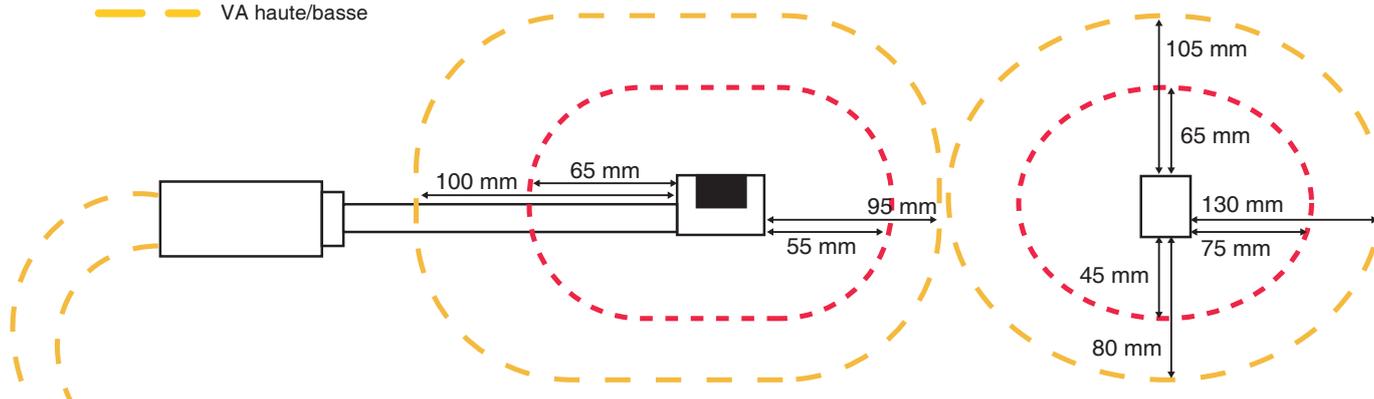


Mesures effectuées sur un POWERDUCTION 39LG selon la directive EMF 2013/35/EU

POWERDUCTION 37 LG

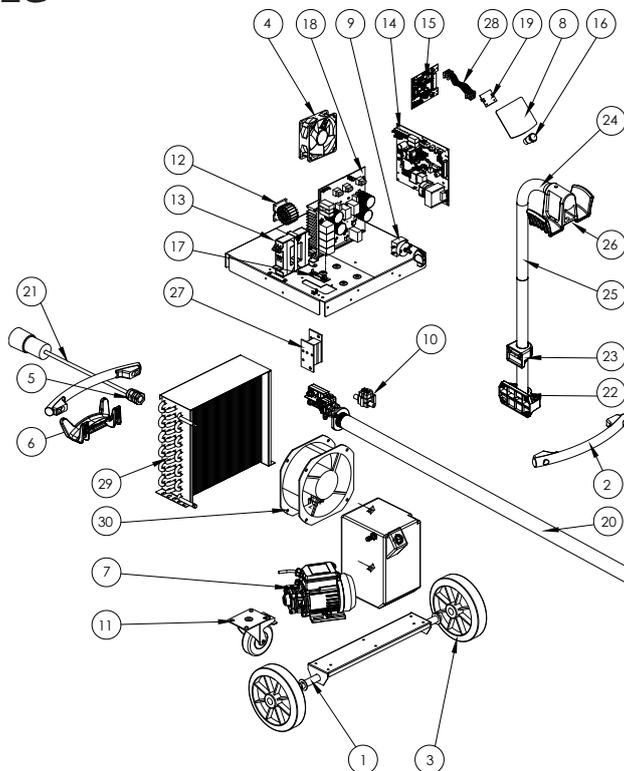
--- VA pour une exposition des membres

--- VA haute/basse

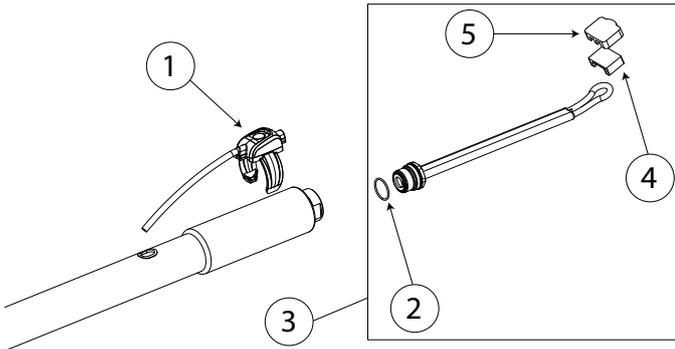


スペア部品

POWERDUCTION 50LG



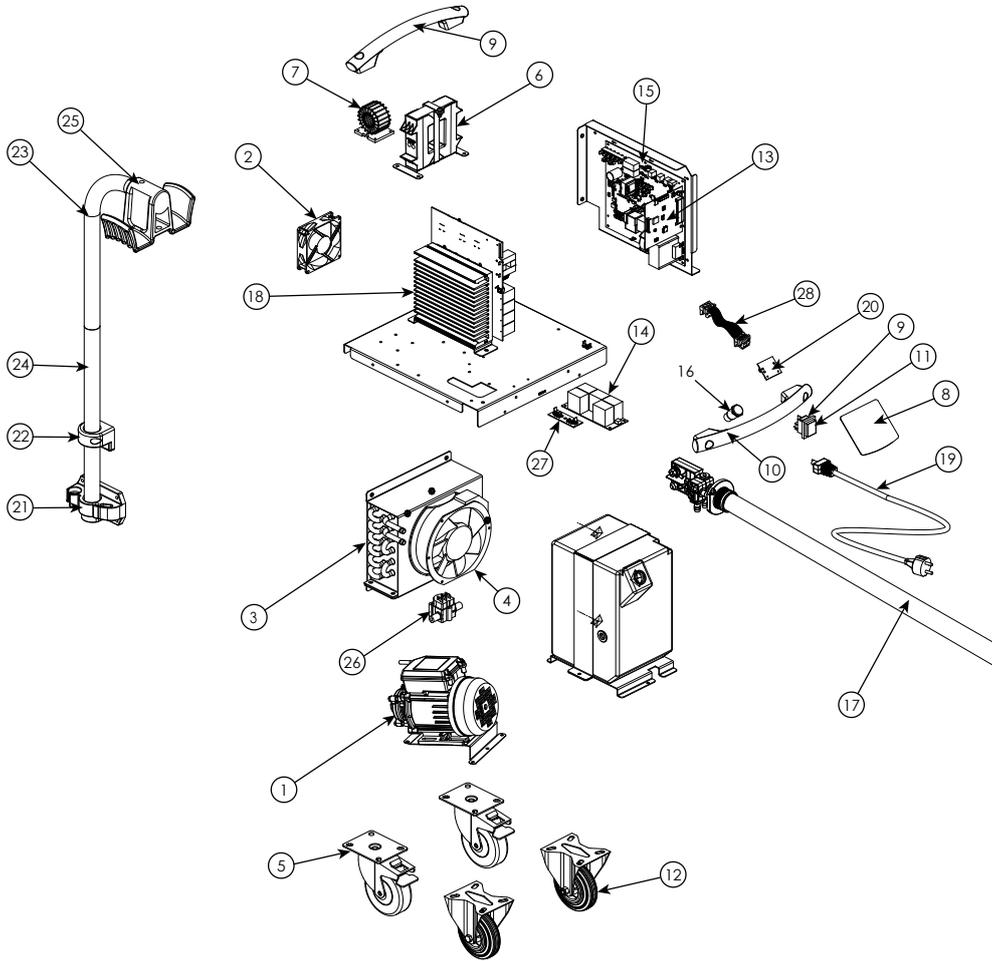
N°	名称	品番
1	ホイール軸	91100ST
2	プラスチックハンドル	56014
3	車輪	71375
4	ファン	51021
5	ケーブル・グラウンド	71164
6	ケーブルリール・プライヤー	56131
7	ポンプ	71746
8	キーボード	51967INDX
9	オン/オフスイッチ	51075
10	流量センサー	81100
11	ブレーキ付き旋回車輪	71360
12	セルフ	63691
13	トランスフォーマー	96175
14	電源・EMC回路	97367C
15	コントロールボード	2021年1月以前に製造された場合 S97788 2021年1月に製造された場合 アフターサービスへお尋ねください。 2021年1月以降に製造された場合 97788C
16	緑色点灯ボタン	51403
17	EMC回路	97472C
18	プライマリ基板	97447C
19	キーボード・インターフェース適応回路	97782C*
20	ローンチ	94196
21	電源コード	21556
	ケーブルハンガー・ハンドルフット	56023
23	ハイ・ステム・サポート	56024
24	ハイ・ステム・サポート	fab050ST
25	マット・ケーブルハンガー	91025ST
26	ケーブルハンガーサポート	56019
27	内蔵コンデンサー	52250
28	リボンケーブル	63781
29	水冷コンデンサー	71777
30	ファン	51004



N°	名称	品番
1	ボタン・キット	S81109
2	誘導器シール	55263
3	完全なC20B1インダクタ	056862
4	フェライト B1	053823
5	フェライト B1プロテクター*	056909

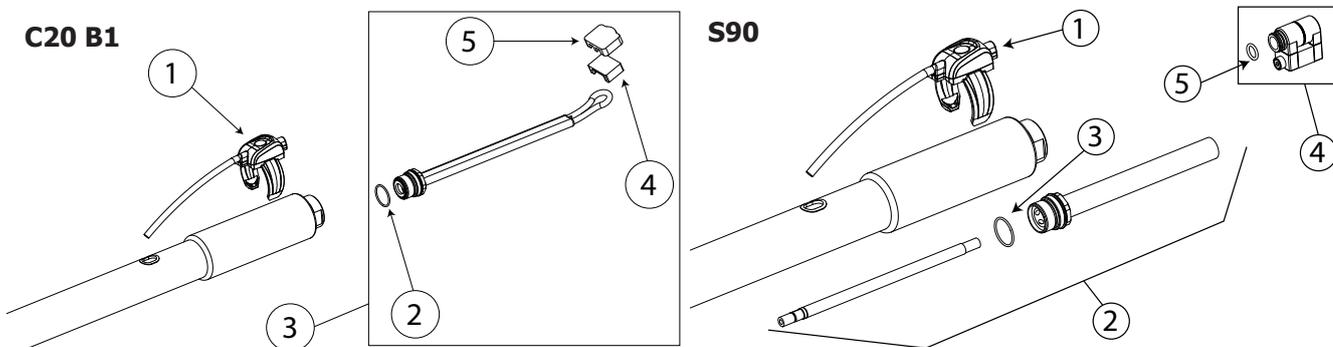
3* 39LG と互換性あり。→

POWERDUCTION 39LG



N°	名称	品番
1	ポンプ	71746
2	ファン	51048
3	ウォーターラジエーター 3列	71778
4	ラジエーターファン	51014
5	ブレーキ付き旋回車輪	71360
6	トランスフォーマー	96175
7	セルフ・トリック	63691
8	キーボード	51967INDX
9	オン/オフスイッチ	52460
10	プラスチックハンドル	56048

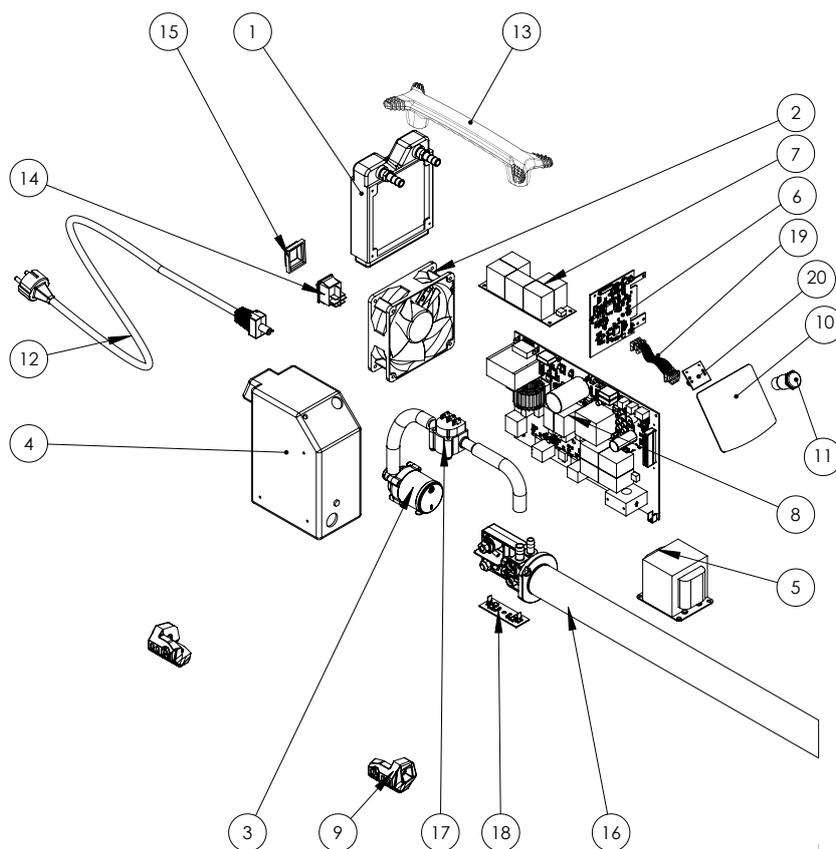
11	ボタン・カバー	52463
12	固定ホイール	71368
13	コントロールボード	2021年12月以前に製造された場合 S97788 2021年12月に製造された場合 アフターサービスへお尋ねください。 2021年12月以降に製造された場合 97788C
14	コンデンサ回路	97426C
15	電源・EMC回路	97367C
16	緑色点灯ボタン	51403
17	ローンチ	94196
18	プライマリ基板	97447C
19	電源コード	21584INDX
20	キーボード・インターフェース適応回路	97782C*
21	ケーブルハンガー・ハンドルフット	56023
	ハイ・ステム・サポート	56024
23	ハイ・ステム・サポート	fab050ST
24	マット・ケーブルハンガー	91025ST
25	ケーブルハンガーサポート	56019
26	流量センサー	81100
27	EMC回路	97472C
28	リボンケーブル	63781



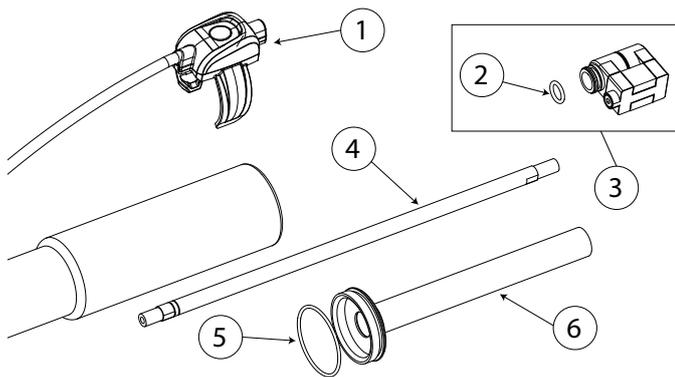
N°	名称	品番
C20 B1		
1	ボタン・キット	S81109
2	誘導器シール	55263
3	完全なC20B1インダクタ	056862
4	フェライト B1	053823
5	フェライト B1プロテクター*	056909
S90		
1	ボタン・キット	S81109
2	アダプター-28S*	064485
3	アダプター-ガスケット	55263
4	完全なS90インダクター	058927
5	誘導器シール	55216

2+4* 50LG と互換性あり。→

POWERDUCTION 37LG



N°	名称	品番
1	水冷コンデンサー	71751
2	ファン	51021
3	ポンプ	71776
4	タンク	91138
5	トランスフォーマー	96133
6	コントロールボード	2021年7月以前に製造された場合 S97418 2021年7月に製造された場合 アフターサービスへお尋ねく ださい。 2021年7月以降に製造された 場合 97418C
7	コンデンサ回路	97473C
8	電源回路	97419C + 64674
9	シュー - アングル	56120
10	キーボード	51967IND1
11	緑色点灯ボタン	51403
12	電源コード	21468 C51138 (UK) 21554 (AUS)
13	プラスチックハンドル	56288-1 56288-2
14	オン/オフスイッチ	52460
15	ボタン・カバー	52463
16	ローンチ	95398
17	流量センサー	81100
18	パワーダクションEMC回路	97472C
19	リボンケーブル	63781
20	キーボード・インターフェース適応回路	97782C*



N°	名称	品番
1	ボタン・キット	S81109
2	誘導器シール	55216
3	完全なS90インダクタ	058927
4	インナー・チューブ	95543
5	アダプターガスケット	55266
6	アダプター	96509



SAS GYS

1, rue de la Croix des Landes
CS 54159
53941SAINT-BERTHEVIN Cedex